



名称	棕梨城址
よみがな	むくなしじょうし
指定	市指定
種別	史跡
種類	遺跡
所在地	大和町棕梨
所有者	三原市
指定年月日	昭和 48 年(1973)10 月 9 日
時代	鎌倉時代頃
公開状況	常時公開
交通案内	JR河内駅から北へ約 11km



【解説】

城址は約 400 m<sup>2</sup>。かなり平坦で、標高約 300m である。明確な築城の年代は不明であるが、関東の城の形式を残した居館式の城である。

棕梨氏は源頼朝に重用された土肥実平<sup>どひさねひら</sup>四代の孫、小早川季平<sup>すえひら</sup>に始まり、その子国平<sup>くに</sup>の代に棕梨に入ったようである。その時棕梨氏を名のつた。十二代のちの景良<sup>かげよし</sup>のとき毛利氏に従い、萩へ移るまでこの城を中心に繁栄した。